

ヒガシのアオハル



学芸発表会（合唱コンクール）

今年も10月25日（土）学芸発表会が開催されました。

行事自体は2学期ですが、準備は1学期の6月ごろから始まっています。合唱コンクールに向けて1学期から会議を重ね、去年よりも良い合唱コンクールを作ろうと頑張っている文化行事担当の先生方には本当に感謝しています。また、生徒も同じく6月ごろに学芸発表会実行委員がクラスから2名ずつ決定します。休み時間や放課後の集まりが多く、大変であると分かっているにも関わらず、立候補をして選ばれる生徒たちにも感謝です。このように毎年行われる学芸発表会はたくさんの教員・生徒の頑張りから生まれるものであると改めて感じます。

毎年2学期になり本格的な合唱練習が始まると、合唱指導がより楽しく感じられます。同じ合唱の授業のはずなのに学年・クラスで全く違う考え、気持ちをもって練習に励んでいる生徒とともに合唱を作り上げることが、とても楽しいし、とても難しいからです。毎年たくさん頭を悩まされますが、本番審査員席から聴くみんなの合唱を想像すると、頑張らなければ！と思えます。中学生の合唱には、人を元気にしてくれる不思議な、そして大きなパワーがあると私は感じています。

本番では私は審査員席から歌を聴いていましたが、どのクラスも本番が1番良い合唱でした。本番は「勝ちたい」とか「やり切ろう」とか、みんなの想いが歌に乗って届く感じがして、たまらなく感動しました。また、リーダーたちを中心にクラスで工夫したり、時にはぶつかったりしながら作り上げる合唱はこんなにも人の心を揺さぶるのだと改めて感じさせられました。各学年、行事の準備と重なりながらの練習でしたが、本当に頑張って合唱を作り上げたと思います。この経験はみんなの記憶に残りながら、みんなを強くしてくれるはずですよ。

一生懸命になってくれてありがとう。感動を、ありがとう！

（音楽科 平光 真於子）



◆◆ 茶道体験 ◆◆

11月7日（金）に東深沢・等々力コミュニティの方々にご協力いただき、3年生を対象に「日本語」の授業の一環で茶道体験をしました。

所作に込められた「礼儀の正しさ」や掛け軸等から感じる「季節の楽しみ方」等日本文化に触れる貴重な時間となりました。



◆◆ ふれあい体験 ◆◆

3年生の家庭科では「家族と家庭生活」という単元で家族の役割や幼児の生活について学習を進めていきました。赤ちゃんの体や心の発達について教科書から学びましたが、実際に触れ合う体験を通じ、言葉では伝えきれない赤ちゃんの温かさや、力強い生命力を肌で感じ取ることができたようです。生徒たちの表情が、緊張から柔らかな笑顔へと変わっていく様子が印象的でした。今回の学びが自分自身の成長を振り返り、小さな命を守り育てることの責任の重さを実感する機会となりました。生徒たちからは「思ったより重かった」「緊張した」といった声が聞かれ、自分たちもこうして大切に育てられて来たのだという、家族への感謝の気持ちも芽生えていたようです。

学校関係者評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました！